

まちづくり町民集会を開催 皆さんの声がこれからのまちをつくる一歩に



平成27年度まちづくり町民集会を2月24日(水)から26日(金)、29日(月)の4日間で開催し、延べ216人の皆さんにご参加いただきました。

自治活動応援課 ☎84-0315



まちづくり町民集会では、「第五次開成町総合計画(前期基本計画第2期実施計画)」を主なテーマとし、その中で「人づくり」「庁舎整備」について、また、「県西地域の広域行政」として、小田原市と南足柄市による連携中核都市圏の形成に向けた2市協議について、府川町長が説明しました。

■これまでのまちづくりの取り組み

成果①

南部地区における大規模な事業

- ・富士フィルム先進研究所の誘致
- ・開成南小学校の開校
- ・南部地区土地区画整理事業による新市街地の整備など

成果③

安全・安心

- ・防災機能を備えた公園の整備
- ・浸水災害協定の締結
- ・防犯灯のLED化
- ・農業の活性化
- ・開成弥一芋のブランド化



- ・ファミリー・サポート・センターの開設
- ・放課後児童クラブの充実
- ・放課後子ども教室の全校実施
- ・開成小学校の大規模改修工事

成果②

子育て環境・教育環境の充実

- ・小児医療費助成制度の拡充



■県西地域の広域行政

小田原市と南足柄市による2市協議

県西地域における安定的な行政サービス提供体制の構築をテーマに、小田原市と南足柄市が圏域の中心市として周辺町と連携中核都市圏を形成するなど、総合的に検討する協議会を立ち上げるものです。

2市協議への対応

町としては、2市の協議に対し、冷静に対処していくことを基本的な姿勢として臨みます。

また、開成町単独ではなく、足柄上郡5町として圏域のあり方をしっかりと議論し、5町が共通の理解と認識のもとで、2市との連携について検討し、県西地域全体の将来像をどのようにしていくか、町民の皆さんと一緒に考えていきます。

※連携中核都市圏構想

圏域の中心市が、近隣の市町村との連携に基づいて、圏域全体の将来像を描き、圏域全体の経済をけん引し、圏域の住民全体の暮らしを支えることを目的とした制度。

■参加した皆さんの意見

参加した皆さんからは、子育てや教育に関する意見もありましたが、

このように、総合計画に基づく計画的なまちづくりの成果として、町では人口が増え続けています。

平成27年国勢調査の速報値が発表され、平成22年から平成27年までの5年間の人口増加率は県内市町村第1位となり、神奈川県内市町村地域では、開成町以外の全ての市町村で人口が減っている中、人口増加傾向を維持している開成町は「元気」な町であるといえます。

「庁舎整備」

新庁舎整備の必要性

現在の庁舎は、平成7年と17年に耐震診断を実施し、災害時の防災拠点に必要とされる判定指標を一部満たしていないとの診断結果が出るなど、いくつかの課題を抱えています。今後ますます多様化する行政ニーズに対応するためにも、庁舎の整備が必要であり、社会状況の変化に柔軟に対応できる庁舎の整備を進めます。

今後のスケジュール

現在、基本設計を進めており、7月には完了する予定です。その後、実施設計を平成28年度中にまとめ、平成31年4月の新庁舎での業務開始を目標に、平成29年度、30年度で工事を進めていく予定です。

■これからの3年間

将来都市像である「明るい未来に向けて人と自然が輝くまち・開成」の実現に向けて、平成28年度からの3か年で取り組む第2期実施計画も着実に推進していきます。

「人づくり」

- ・子どもたちの声が響き渡る「元気」なまちとして、オール開成で魅力ある教育を推進
- ・更なる子育て支援の充実

これら2つを掲げて開成町の未来を切り開いていく子どもたちが、未来に夢と希望を持ち、これからの社会でいきいきと活躍できるように、地域全体でまちづくりを進めていきます。



イメージ図

まちづくり町民集会参加状況

開催日	開催場所	参加人数
2月24日(水)	町民センター	84人
2月25日(木)	福社会館	34人
2月26日(金)	町民センター	60人
2月29日(月)	上延沢自治会館	38人

※詳細は町ホームページでご覧いただけます。

HP <http://www.town.kaisei.kanagawa.jp/>